

注3

大学番号：私015

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

岩手保健医療大学

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 二戸学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 事務局長 マツイ 松井 テルオ 照雄

電話番号 019-606-7030

（夜間） 019-606-7030

F A X 019-606-7031

e-mail soumu@iwate-uhms.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 留意事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	20
FD委員会規程	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人二戸学園

(2) 大学名

岩手保健医療大学

(3) 大学の位置

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目6-30

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	イシヤマ テツ 石山 哲 (平成26年11月)		
学長	シミズ テツロウ 清水 哲郎 (平成29年4月)		
学部長	ハマナカ キヨ 濱中 喜代 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	80人	-年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成29年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	-	0.97倍	
志願者数	163 (-) [-]			
受験者数	147 (-) [-]			
合格者数	124 (-) [-] []			
B 入学者数	78 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.97			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	78	[-] (-)	
2年次	/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	
計	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	78	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	- 人	- 人	平成26年度	- 人	- 人		- %
			平成27年度	- 人	- 人		
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成27年度 入学者	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人		- %
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成28年度 入学者	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人		- %
			平成29年度	- 人	- 人		
平成29年度 入学者	78 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人		0.00 %
合 計	78 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎 科 目 (総合人間科学)	思考の基礎と方法 探求の基礎 英語Ⅰ 英語Ⅱ 医療英語 情報処理 調査と統計 基礎ゼミナール 健康とスポーツ	1前	2			1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3 兼1 共同 ※講義15h含む	
		1後	2										
		2前	2										
		4後		1									
		1前	2										
		3後	2										
		1通	2				6	2	3	6			
		2通		2									
	自己・他者の理解	対人コミュニケーション 人間関係 人間と心理 発達と教育 人間の生涯発達 人間の生と死 東アジアの文化 西ヨーロッパの文化	1前	1			1						兼1 兼1 兼1 オムニバス オムニバス オムニバス
			1後	1			1						
1前				1									
1後				1									
1後			2				3	1	1				
2後			1				2						
4後				1			1						
4後				1			1						
生活・社会の理解	地域の文化 暮らしの科学 人間と文化 家族という社会 憲法 社会と福祉	1前	1			1						兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 オムニバス	
		1前	1										
		1後	1										
		2前	1										
		2前		2									
専門基礎科目 (看護とその対象理解ベースック)	自然・環境の理解	1前	1									兼1 兼1	
		1前		1									
	健康の理解	生化学 形態機能学 病態生理学 疾病治療論Ⅰ 疾病治療論Ⅱ 疾病治療論Ⅲ ヘルスアセスメント メンタルヘルス論 臨床栄養学 臨床薬理学	1前	1									兼1 兼2 兼1 兼5 兼7 兼3 共同 兼1 兼1 オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
			1前	2									
			1後	2									
			1後	2									
			2前	2									
			2後	1									
			1前	1			1	1		2			
			1後		1			1					
			2前	1									
			2後	1									
	保健と環境 (被災地支援に向けて)	ボランティア論 感染症学 ヘルスプロモーション論 チーム医療論 医療経済学 公衆衛生学・疫学 災害援助論 保健医療福祉行政論	1後		1								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 オムニバス オムニバス
1後			2										
3前			2			1		1					
2後			2										
4後				2									
3前			2										
3前			1						1				
4前			2				1		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 (看護の理解)	基盤の理解	看護学概論	1前	2			1						
		早期体験実習	1前	1			3	2	3	3	8		
		基礎看護援助論	1前	2			1	1				オムニバス・共同(一部)	
		生活援助技術論	1後	2			1	1			2	共同	
		看護理論	1後	1			1						
		生活援助実習	1後	2			1	2	2	2	7		
		看護倫理	2前	1			2			1		オムニバス・共同(一部)	
	家族看護論	2後	1			1							
	実践の理解	療養援助技術論	2前	2			1	1			2		共同
		看護過程論	2前	1			2	2			6		共同
		療養援助実習Ⅰ	2前	2			1	2	1	3	7		
		療養援助実習Ⅱ	2後	2			1	3	2	2	7		
		成人看護学概論	1後	1				1				オムニバス・共同(一部)	
		成人看護援助論	2前	1				1	1	1			
		生活習慣看護論	2後	1				1					
		慢性期看護技術論	3前	1				1	1			共同	
		成人看護学実習Ⅰ	3前	2				1		1	1		
		急性期看護技術論	3後	1			1	1	1	1		共同	
		がん看護論	3前	1					1				
		成人看護学実習Ⅱ	3後	2					1	1	1		
		老年看護学概論	1後	1			1					オムニバス・共同(一部)	
		老年看護援助論	2前	2			1	1				共同	
		老年看護技術論	2後	1			1	1					
		老年看護学実習	3前	2			1	1			2		
		母性看護学概論	2前	1			1					オムニバス	
		母性看護援助論	2後	2			1				1	共同	
		母性看護技術論	3前	1			1				1		
		母性看護学実習	3通	2			1				1	1	
		小児看護学概論	2前	1			1					オムニバス・共同(一部)	
		小児看護援助論	2後	2			2				2	共同	
		小児看護技術論	3前	1			2				1		
		小児看護学実習	3通	2			2				2	1	
		精神看護学概論	2前	1			1						兼2
精神看護援助論		2後	2			1					オムニバス		
精神看護技術論	3前	1			1				1	共同			
	3後	2			1				1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合科目 (看護の総合的理解)	在宅看護の理解	在宅看護学概論	3前	1			1		1			オムニバス
		在宅看護援助論	3後	1			1		1			オムニバス
		保健医療福祉連携論	3後	1					1			兼1
		在宅看護技術論	4前	1			1		1			オムニバス
		在宅看護学実習	4前	2			1		1		2	共同
	地域看護・公衆衛生の理解	地域看護学概論	3後	1			1					兼1
		地域看護援助論	3後	1			1		1			オムニバス
		公衆衛生看護技術論	4前		2		1		1			兼1
		公衆衛生看護管理論	4前		2		1		1			兼1
		地域看護学実習	4前	1			1		1		1	兼1
		公衆衛生看護学実習	4前		4		1		1		1	兼1
	看護の総合的理解	リハビリテーション看護論	3前		1							兼1
		放射線看護論	3後		1							兼2
		セクシャルヘルスアセスメント	3後		1		1					オムニバス
		エンドオブライフケア論	3後	1			2		2			オムニバス
		災害看護論	4前	1					1			兼1
		感染看護論	4前		1							兼1
		看護教育論	4前		1		1					
		看護管理論	4前	1					1			兼1
		救急看護論	4後		1				2			オムニバス
		国際看護論	4後		1					1		兼1
看護の総合的理解	臨床倫理	4後	1			2					オムニバス・共同(一部)	
	総合実習	4後	2			8	3	3	6		兼1	
	看護研究方法論	3後	1			1					兼1	
	卒業研究ゼミナール	4通	4			9	3	3	6		兼3	
											共同	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
82	21	0	103	82	21	0	103	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{103} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積 4331.48㎡ 借用期間 平成28年4月1日より 25年		
	校舎敷地	2662.98㎡	㎡	㎡	2662.98㎡			
	運動場用地	1497.17㎡	㎡	㎡	1497.17㎡			
	小 計	4160.15㎡	㎡	㎡	4160.15㎡			
	そ の 他	171.33㎡	㎡	㎡	171.33㎡			
	合 計	4331.48㎡	㎡	㎡	4331.48㎡			
(2) 校舎	専 用	5122.12㎡				竣工後の実測による (29)		
		5118.36㎡	㎡	㎡	㎡			
		(5122.12㎡)						
		(5118.36㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	4室	9室	3室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	看護学部 看護学科			27 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	購入手続き済のもので 未納になっている図書 については今後納入予定
	看護学部	5,150 [500] 1,996 [244] (2,610 [260])	22 [5] (21 [3]) (22 [5])	2 [2] (2 [2])	30 (11) (10)	5,573 (4,860) (5,019)	33 (3) (0)	
	計	5,150 [500] 1,996 [244] (2,610 [260])	22 [5] (21 [3]) (22 [5])	2 [2] (2 [2])	30 (11) (10)	5,573 (4,860) (5,019)	33 (3) (0)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			
	326.80㎡		40		15,000			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	724.50㎡		-					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	8,649千円 16,496千円	16,788千円 8,941千円	2,500千円
		共同研究費等	1,000千円	3,000千円	設備購入費	140,346千円 166,987千円	34,629千円 7,988千円	2,500千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,750千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	-	-	
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、手数料収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岩手保健医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
看護学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	0.97	平成 29年度	岩手県盛岡市盛岡駅西 通1丁目6番30号	
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)									
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。									
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
該当なし									

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

専任・兼任・兼任	設置時の計画				変更状況				備考
	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任	職位	氏名 (年齢)	就任予定年月	
専	教授 (学長)	清水哲郎	平成29年4月	探求の基礎 人間の生と死※ 西ヨーロッパの文化 看護倫理※ エンドオブライフケア論※ 臨床倫理※					
専	教授(学 部長)	濱中喜代	平成29年4月	基礎ゼミナール 人間の生涯発達※ 看護倫理※ 家族看護論 小児看護学概論 小児看護援助論※ 小児看護技術論 小児看護学実習 エンドオブライフケア論※ 臨床倫理※ 総合実習 卒業研究ゼミナール					
専	教授	中村一基	平成30年4月	基礎ゼミナール 人間の生と死※ 地域の文化 卒業研究ゼミナール					
兼任	講師	中村一基	平成29年4月	基礎ゼミナール 地域の文化					
専	教授	砂山 稔	平成31年4月	東アジアの文化					
専	教授	豊嶋三枝子	平成29年4月	基礎ゼミナール ヘルスアセスメント 看護学概論 早期体験実習 基礎看護援助論※ 生活援助技術論 看護理論 生活援助実習 療養援助技術論 看護過程論 療養援助実習Ⅰ 急性期看護技術論 看護教育論 総合実習 卒業研究ゼミナール					
専	教授	勝野とわ子	平成30年4月	療養援助実習Ⅱ 老年看護学概論 老年看護援助論※ 老年看護技術論 老年看護学実習 総合実習 看護研究方法論※ 卒業研究ゼミナール					
兼任	講師	勝野とわ子	平成29年4月	老年看護学概論					
専	教授	江守陽子	平成29年4月	基礎ゼミナール 人間の生涯発達※ 生活援助実習 母性看護学概論 母性看護援助論※ 母性看護技術論 母性看護学実習 セクシャルヘルスアセスメント 総合実習 卒業研究ゼミナール					
専	教授	遠藤芳子	平成29年4月	基礎ゼミナール 早期体験実習 生活援助実習 看護過程論 小児看護援助論※ 小児看護技術論 小児看護学実習 総合実習 卒業研究ゼミナール					
専	教授	山本勝則	平成29年4月	基礎ゼミナール 対人コミュニケーション※ 人間関係 人間の生涯発達※ メンタルヘルス論 早期体験実習 精神看護学概論 精神看護援助論※ 精神看護技術論 精神看護学実習 総合実習 卒業研究ゼミナール					

専	教授	神山幸枝	平成31年4月	在宅看護学概論※ 在宅看護援助論※ 在宅看護技術論 在宅看護学実習 総合実習 卒業研究ゼミナール						
専	教授	福島道子	平成31年4月	ヘルスプロモーション論※ 保健医療福祉行政論※ 地域看護学概論 地域看護援助論※ 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護管理論※ 地域看護学実習 公衆衛生看護学実習 総合実習 卒業研究ゼミナール						
専	准教授	竹本由香里	平成29年4月	基礎ゼミナール ヘルスアセスメント 早期体験実習 基礎看護援助論※ 生活援助技術論 生活援助実習 療養援助技術論 看護過程論 療養援助実習 I 療養援助実習 II 看護管理論※ 総合実習 卒業研究ゼミナール						
専	准教授	新田純子	平成30年4月	生活援助実習 療養援助実習 I 療養援助実習 II 成人看護学概論 成人看護援助論※ 生活習慣看護論 慢性期看護技術論 成人看護学実習 I 急性期看護技術論 救急看護論※ 総合実習 卒業研究ゼミナール	専	准教授	土田幸子 (60)	平成30年4月	生活援助実習 療養援助実習 I 療養援助実習 II 成人看護学概論※ 生活習慣看護論 慢性期看護技術論 成人看護学実習 I 急性期看護技術論 救急看護論※ 総合実習 卒業研究ゼミナール	平成28年10月 新田純子就任辞退 平成29年7月 AC教員審査予定 (29)
兼任	講師	新田純子	平成29年4月	成人看護学概論	兼任	講師	土田幸子 (60)	平成29年4月	成人看護学概論	
専	准教授	木内千晶	平成29年4月	基礎ゼミナール 人間の生涯発達※ 早期体験実習 生活援助実習 看護過程論 療養援助実習 I 療養援助実習 II 老年看護援助論※ 老年看護技術論 老年看護学実習 救急看護論※ 総合実習 卒業研究ゼミナール						
専	講師	石井真紀子	平成29年4月	基礎ゼミナール 人間の生涯発達※ 早期体験実習 生活援助実習 看護倫理※ 療養援助実習 I 療養援助実習 II 成人看護援助論※ 慢性期看護技術論 急性期看護技術論 がん看護論 成人看護学実習 II エンドオブライフケア論※ 総合実習 卒業研究ゼミナール						
専	講師	齊藤美恵	平成29年4月	基礎ゼミナール 災害援助論※ 早期体験実習 生活援助実習 療養援助実習 I 療養援助実習 II 在宅看護学概論※ 在宅看護援助論※ 保健医療福祉連携論※ 在宅看護技術論 在宅看護学実習 エンドオブライフケア論※ 災害看護論※ 総合実習 卒業研究ゼミナール	専	講師	齊藤美恵 (52)	平成31年4月	基礎ゼミナール 災害援助論※ 早期体験実習 生活援助実習 療養援助実習 I 療養援助実習 II 在宅看護学概論※ 在宅看護援助論※ 保健医療福祉連携論※ 在宅看護技術論 在宅看護学実習 エンドオブライフケア論※ 災害看護論※ 総合実習 卒業研究ゼミナール	平成28年1月 齊藤美恵就任延期 平成29年度開講科目 は、共同科目のため、 支障はない。 (29)

専	講師	青柳美樹	平成31年4月	基礎ゼミナール ヘルスプロモーション論※ 保健医療福祉行政論※ 早期体験実習 生活援助実習 療養援助実習Ⅱ 地域看護援助論※ 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護管理論※ 地域看護学実習 公衆衛生看護学実習 国際看護論※ 総合実習 卒業研究ゼミナール					
専	助教	作間弘美	平成29年4月	基礎ゼミナール ヘルスアセスメント 早期体験実習 生活援助技術論 生活援助実習 療養援助技術論 看護過程論 療養援助実習Ⅰ 小児看護援助論※ 小児看護学実習 総合実習 卒業研究ゼミナール					
専	助教	成田真理子	平成29年4月	基礎ゼミナール ヘルスアセスメント 早期体験実習 生活援助技術論 生活援助実習 療養援助技術論 看護過程論 療養援助実習Ⅰ 療養援助実習Ⅱ 総合実習 卒業研究ゼミナール 総合実習					
専	助教	齋藤史枝	平成29年4月	基礎ゼミナール 看護過程論 療養援助実習Ⅰ 療養援助実習Ⅱ 成人看護援助論※ 成人看護学実習Ⅰ 急性期看護技術論 成人看護学実習Ⅱ 総合実習 卒業研究ゼミナール					
専	助教	大谷良子	平成29年4月	基礎ゼミナール 早期体験実習 生活援助実習 看護過程論 母性看護援助論※ 母性看護技術論 母性看護学実習 総合実習 卒業研究ゼミナール					
専	助教	甲斐恭子	平成29年4月	基礎ゼミナール 看護過程論 小児看護援助論※ 小児看護技術論 小児看護学実習 総合実習 卒業研究ゼミナール					
専	助教	石川 真	平成29年4月	基礎ゼミナール 生活援助実習 看護過程論 療養援助実習Ⅱ 精神看護技術論 精神看護学実習 総合実習 卒業研究ゼミナール			後任未定		平成29年1月 石川真助教就任辞退 「後任未定」平成31年4 月から専任教員採用予 定で公募中。 (29)
兼任	講師	友松郁子	平成29年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 医療英語 基礎ゼミナール 対人コミュニケーション※ 国際看護論※ 卒業研究ゼミナール					
兼任	講師	大井慈郎	平成29年4月	情報処理 調査と統計 基礎ゼミナール 卒業研究ゼミナール					
兼任	講師	相澤 出	平成29年4月	基礎ゼミナール 人間と文化 家族という社会 社会と福祉 ボランティア論 チーム医療論 看護研究方法論※ 卒業研究ゼミナール					

兼任	講師	栗林 徹	平成30年4月	健康とスポーツ						
兼任	講師	岩木信喜	平成29年4月	人間と心理						
兼任	講師	田代高章	平成29年4月	発達と教育						
兼任	講師	長澤由喜子	平成29年4月	暮らしの科学※						
兼任	講師	川崎 敏	平成29年4月	暮らしの科学※ 自然科学						
兼任	講師	菊地 洋	平成30年4月	憲法						
兼任	講師	竹原明秀	平成29年4月	環境生態学						
兼任	講師	川崎雅志	平成29年4月	生化学						
兼任	講師	遠山稿二郎	平成29年4月	形態機能学						
兼任	講師	松本光比古	平成29年4月	形態機能学						
兼任	講師	武田利明	平成29年4月	病態生理学 臨床薬理学						
兼任	講師	上野充人	平成29年4月	疾病治療論Ⅰ※						
兼任	講師	関 博文	平成29年4月	疾病治療論Ⅰ※ 疾病治療論Ⅱ※						
兼任	講師	小西一樹	平成29年4月	疾病治療論Ⅰ※ 疾病治療論Ⅱ※						
兼任	講師	及川浩平	平成29年4月	疾病治療論Ⅰ※ 疾病治療論Ⅱ※						
兼任	講師	久保川学	平成29年4月	疾病治療論Ⅰ※ 疾病治療論Ⅱ※						
兼任	講師	石山 隆	平成30年4月	疾病治療論Ⅱ※						
兼任	講師	吉崎 陽	平成30年4月	疾病治療論Ⅱ※ 疾病治療論Ⅲ※						
兼任	講師	菅野啓一	平成30年4月	疾病治療論Ⅱ※ 疾病治療論Ⅲ※						
兼任	講師	菅野恒治	平成30年4月	疾病治療論Ⅲ※						
兼任	講師	加藤哲子	平成30年4月	臨床栄養学						
兼任	講師	井上都之	平成29年4月	感染症学 感染看護論						
兼任	講師	奥寺三枝子	平成31年4月	ヘルスプロモーション論※ 災害援助論※ 保健医療福祉行政論※ 保健医療福祉連携論※ 地域看護援助論※ 公衆衛生看護技術論 公衆衛生看護管理論※ 地域看護学実習 公衆衛生看護学実習 災害看護論※						
兼任	講師	吉田裕人	平成32年4月	医療経済学						
兼任	講師	立身政信	平成31年4月	公衆衛生学・疫学						
兼任	講師	石山 哲	平成30年4月	精神看護援助論※						
兼任	講師	遠藤雅俊	平成30年4月	精神看護援助論※						
兼任	講師	泉キヨ子	平成31年4月	リハビリテーション看護論						
兼任	講師	細川洋一郎	平成31年4月	放射線看護論※						
兼任	講師	野戸結花	平成32年4月	放射線看護論※						
兼任	講師	鶴田恵子	平成32年4月	看護管理論※						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
19 名	10 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	3	3	6	23	6	2	1	5	14	11	3	3	6	23
(6)	(2)	(2)	(6)	(16)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	6 名	11 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	新田 純子	必修	生活援助実習	①	体調不良のため就任辞退 (29)			
			必修	療養援助実習 I	①				
			必修	療養援助実習 II	①				
			必修	成人看護学概論	①				
			必修	成人看護援助論	①				
			必修	生活習慣看護論	①				
			必修	慢性期看護技術論	①				
			必修	成人看護学実習 I	①				
			必修	急性期看護技術論	①				
			選択	救急看護論	①				
			必修	総合実習	①				
2	講師	齊藤 美恵	必修	卒業研究ゼミナール	①	本人の希望のため就任延期 (29)			
			必修	基礎ゼミナール	①				
			必修	災害援助論	①				
			必修	早期体験実習	①				
			必修	生活援助実習	①				
			必修	療養援助実習 I	①				
			必修	療養援助実習 II	①				
			必修	在宅看護学概論	①				
			必修	在宅看護援助論	①				
			必修	保健医療福祉連携論	①				
			必修	在宅看護技術論	①				
			必修	在宅看護学実習	①				
			必修	エンドオブライフケア論	①				
			必修	災害看護論	①				
必修	総合実習	①							
3	助教	石川 真	必修	卒業研究ゼミナール	③	体調不良のため就任辞退 (29)			
			必修	基礎ゼミナール	③				
			必修	生活援助実習	③				
			必修	看護過程論	③				
			必修	療養援助実習 II	③				
			必修	精神看護技術論	③				
			必修	精神看護学実習	③				
			必修	総合実習	③				
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	34 科目	必修	26 科目	必修	0 科目	必修	8 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	35 科目	計	27 科目	計	0 科目	計	8 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
3	人	必修	34 科目	必修	26 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	35 科目	計	27 科目	計	0 科目

(注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

新田純子准教授、石川真助教からの就任辞退の申し出については、学長・学部長が慰留に努めたが健康上の理由のため、辞退の申し出を認めることにした。齊藤美恵講師については、本人の強い希望があったことに加え、担当分野の「在宅看護学」が3年次からの講義であることから就任延期を認めることにした。
また、学生は就任予定教員を事前に把握していないため影響はないと思われるが、シラバス等で周知する。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (平成28年9月)	1. 設置の主旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。 また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	留意事項を踏まえ、設置計画に沿って確実に履行していくとともに、より高度な教育活動を推進していくよう努めております。	
	2. 授業科目「東アジアの文化」の授業内容について、中国圏の人々の文化を学修するものに改めるのであれば、授業科目名についても、当該授業内容を反映した名称に適切に改めること。	留意事項		平成32年度開講科目として留意事項の内容を十分に踏まえ、適切な名称となるよう検討して参ります。
	3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項		留意事項の内容を十分に踏まえ、完成年度以降の教育体制に支障を来たさないよう、引続き適切な人材確保に努めて参ります。
	○ 本学における選択科目の位置づけや、選択科目（特に「セクシュアルヘルスアセスメント」等を配置する科目区分「看護の総合の理解」の選択科目）として開講する積極的な意義を、関連する必修科目との対応科目との対応関係も含めて、学生への十分な説明に努めることが望ましい。	その他意見	オリエンテーション及び集団または個別相談において説明に努めております。	学生の個々の目標とするキャリアに合わせた主体的な学習を促すための選択科目として、その内容等を十分に説明できるよう努めて参ります。
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会設置（平成29年4月1日制定） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会 4月21日開催（学長、学部長他委員4名出席） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度の活動計画、役割分担について審議 ・ 教育理念、教育過程の理解及び共有のための学長・学部長による研修会開催について ・ 授業評価及び成績評価に関するFDの実施について <p>② 実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4月3日に新任教員に対して学部長から本学の教育理念、教育課程についてFDを行った。 2. 4月14日に仙台市にて開催された能動的な学習方略（反転授業、シミュレーション教育、課題解決型学習等）に関するFDに参加し、看護課程に活かすシナリオシミュレーションについて学んだ。これについて学内で伝達FDを開催予定である。 3. 4月26日に防火防災・環境保全委員会と共同し、全教職員を対象とした「AEDを含めた1次救命処置講習会」を実施した。 4. 5月18日（木）に学長による教育理念等に関する研修会を開催する。 5. 6月には看護教育に関するグループワークを開催予定 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>平成29年度前期授業から開始する。アンケート内容や実施方法については他大学の情報収集を行い、検討していく。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>公開範囲の内容、方法については今後検討していく。</p>

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

FD 委員会規程

(平成 29 年 4 月 1 日制定)

(設置)

第 1 条 岩手保健医療大学看護学部に、FD (Faculty Development) SD(Staff Development)に関し審議するため、FD 委員会 (以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議し、必要な事項を処理する。

- (1)FD・SD 活動に関する情報の収集と提供に関すること。
- (2)FD・SD 活動の企画立案に関すること。
- (3)FD・SD 活動の実施に関すること。
- (4)FD・SD 活動の評価に関すること。
- (5)教育方法、教育能力の向上に関すること。
- (6)授業評価の実施とその検討に関すること。
- (7)その他教員の授業改善に関すること。
- (8)その他 FD・SD に関して必要なこと。

2 委員会は、前項に掲げた職務の一部を、必要に応じて他の委員会に委託することができる。

3 委員会は、必要に応じて他の委員会の職務の一部を受託することができる。

(組織)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教員メンバーから 3 名程度
- (2)その他委員会が必要と認めた者 若干名

2 委員長および前項第 1 号に掲げる委員は、学部長が決定し学長が委嘱する。

(任期)

第 4 条 前条第 1 項第 1 号および第 2 号に掲げる委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。

2 欠員により補充された委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 5 条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員が、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(部会)

第8条 委員会に、専門的事項を審議するとともに必要な事項を処理するため、必要に応じ、部会を置くことができる。

2 部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に沿って確実に履行していくよう努めて参ります。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

年度ごとにまとめてホームページ等で公表予定である。

b 公表方法

公開範囲の内容、方法については今後検討していく。

③ 認証評価を受ける計画

完成後に評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成30年 3月 末)